

## 【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号： 24-1-045

補助事業名： 平成 24 年度 国際交流の推進 補助事業

補助事業者名： 一般社団法人研究産業・産業技術振興協会

### 1 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

世界の国々との産業技術交流、世界的課題に対する人材の国際ネットワーク構築を推進することで産業技術の国際交流を図り、もって公益の増進に寄与する。

#### (2) 実施内容

##### ①研究開発成長戦略マネジメント国際交流会

欧州研究産業協会（EIRMA）と 2012 年締結した国際連携に関する覚書（MOU）に基づき、2012 年 10 月 25 日にドイツのミュンヘンで開催された CTO フォーラムに参加した。会合には、欧州の主要企業の技術のトップが参加し、内部制約下における技術革新の推進、エネルギーセクター技術革新のための長期推進力、顧客・消費者との技術革新、大学・地域技術振興機関との共同研究開発等のテーマについて、活発に討議が行われた。

また米国との交流では、米国研究産業協会（IRI）が、2012 年 9 月 11 日～14 日に、ピッツバーグで開催したネットワーキングミーティングに参加した。約 40 名の専門家が参加し、五つのセッション（技術の外部連携、財務・戦略・ポートフォリオ分析、健康・安全・環境、情報システム情報技術、新規事業開発）に別れて、如何に国際協力チームをつくるか、社内で如何にオープンイノベーションのチームをつくるか、オープンイノベーション知識の共有等の討議が行われた。

こうした国際交流活動を通じ、日欧米を始め六つの世界の類似機関との国際連携が合意され、平成 25 年 5 月に世界研究産業連合会（W-FIRA）設立の運びとなった。

##### ②アラブ圏域BOP技術ミッションの派遣事業

外務省等の公開情報を分析するとともに、在日モロッコ王国大使館、JETRO、UNIDO、現地日本大使館関係者等から現地情報を入手した。アラブ圏域の中でも、治安が良く、また地中海を挟んでヨーロッパ市場を望む北アフリカのモロッコ王国を対象とし、再生可能エネルギー、食品加工を中心に日本の優れた技術分野についての現地ニーズを調査するとともに、訪問地域の選定、現地企業訪問の選定と調整を行った。

10 月 14 日～10 月 25 日にモロッコ王国への技術ミッションを派遣。政府公的機関、企業、農水産関係先を訪問した。

帰国後の 11/9 に第 3 回 BOP 技術ミッション検討委員会を開催し現地訪問結果と最終報告書のまとめを行った。



## 2 予想される事業実施効果

### ① 研究開発成長戦略マネジメント国際交流会

EIRMA（欧州）及び IRI（米国）での貴重な討議の内容は、日本国内で研究開発マネジメント等を担当されている方々への刺激にもなり、各企業において、より高度の研究管理が期待されるとともに、研究開発の国際分業と連携を検討する際の参考となる。

また、欧米の類似機関との交流の実績、今後の日欧米を始め世界6地域との世界研究産業連合会の設立は、日本の研究開発にとり、よりグローバルな視点での国際分業と協業に向けての活動の円滑化が促進される。

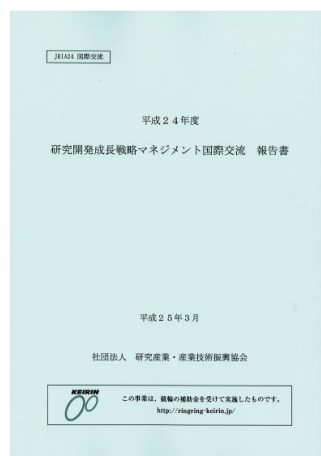
### ② アラブ圏域BOP技術ミッションの派遣事業

発展途上国へのミッション派遣により、日本国内での調査では手に入らないアラブ圏での情報、商流、人的資産を入手することが出来た。これにより、今後の日本企業進出の足がかりとなると共に、中小企業のグローバル化、国際進出、ひいては国際交流の発展に繋がる。

## 3 本事業により作成した印刷物

[平成 24 年度研究開発成長戦略マネジメント国際交流報告書](#)

[平成 24 年度国際交流の推進事業 BOP 技術ミッション検討委員会報告書](#)



#### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人 研究産業・産業技術振興協会(ケンキュウサンギョウ・サンギョウギジュツシンコウキョウカイ)

住所： 113-0033  
東京都文京区本郷 3-23-1 クロセビア本郷 2F

代表者： 会長 伊藤 源嗣(イトウ モトツグ)

担当部署： 企画交流部(キカクコウリュウブ)

担当者名： 小林 一雄(コバヤシ カズオ)

電話番号： 03-3868-0826

F A X : 03-5684-6340

E-mail : [jria1@jria.or.jp](mailto:jria1@jria.or.jp)

URL : <http://www.jria.or.jp>